

Conférence

Les deux corps du poète

« Mort à jamais ? Qui peut le dire ? »

Mercredi 22 juin 2022, 18h00-20h00

Université de Tokyo (Hongo)

International Academic Research Bldg. Grande salle 3

entrée libre, sans traduction

講演会のお知らせ

アントワヌ・コンパニオン

(アカデミー・フランセーズ会員、コレージュ・ド・フランス名誉教授)

2022年6月22日(水) 18:00 ~ 20:00

東京大学 本郷キャンパス 国際学術総合研究棟3番大教室

入場無料 通訳なし

フランス語フランス文学研究室

(Département de langue et littérature françaises)

futsubun@l.u-tokyo.ac.jp

03.5841.3842

Antoine Compagnon
de l'Académie française, Professeur émérite au Collège de France

講演会のお知らせ

アントワーヌ・コンパニオン

(アカデミー・フランセーズ会員、コレージュ・ド・フランス名誉教授)

《詩人の二つの身体 — 「永遠に死んだのか？ だれがそう断言できよう？」》

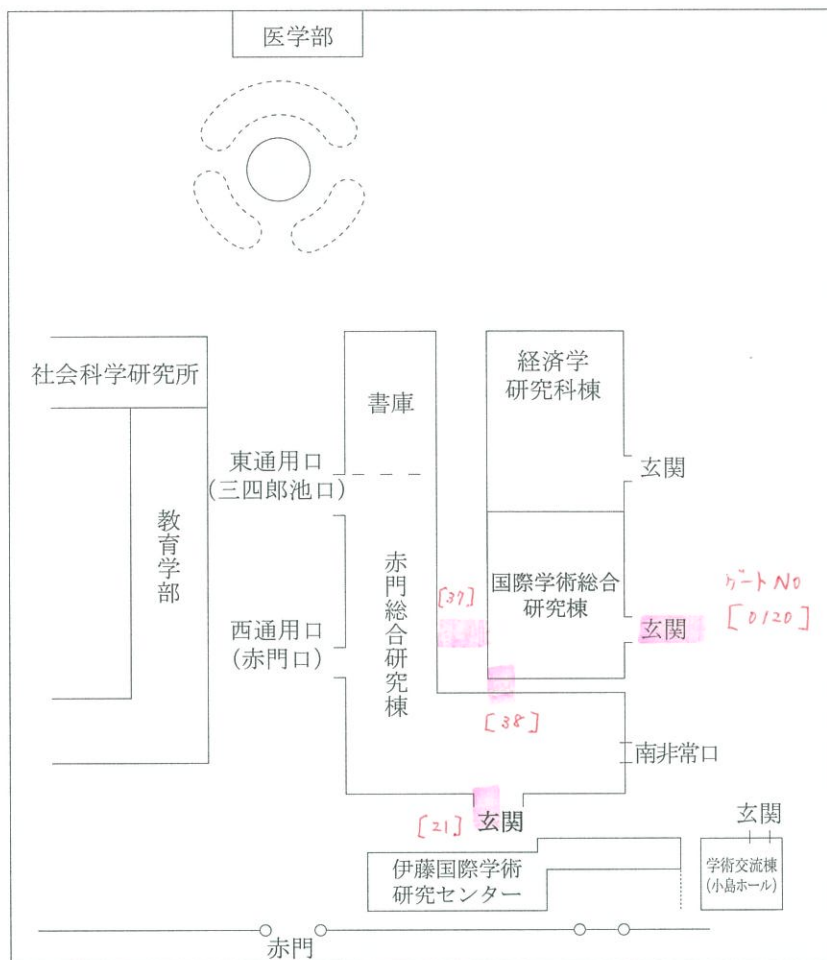
エルンスト・カントロヴィッチは、王には自然的身体と政治的身体という二つの身体があり、後者には永遠の本性があるという有名な説を立てた。このとき実は詩人についても考えていた。アウグストゥスとウェルギリウスが、いずれも不滅の存在となっていたからである。プルーストは、ボードレールの最後の写真のうちに、永遠の詩人ホメロスの姿を認めていた。「循環の力を知っている者は死を恐れない」と、ブランショは記したが、これはフーゴ・フォン・ホフマンスタールの引用である。ホフマンスタール自身も、ジャラルール・ウディーン・ルーミーを引用していた。文学の輪舞はどこまでも終わらない。

Antoine Compagnon

« *Les deux corps du poète. “Mort à jamais ? Qui peut le dire ?”* »

Ernst Kantorowicz, quand il formula sa célèbre thèse sur les deux corps du roi, pensait aussi au poète, au couple d'Auguste et de Virgile se rendant mutuellement immortels. Proust reconnaissait Homère, le poète éternel, dans la dernière photographie de Baudelaire. « Qui connaît le pouvoir du cercle ne craint pas la mort », écrivait Maurice Blanchot, citant Hugo von Hofmannsthal, qui citait lui-même Djalâl ad-Dîn Rûmî. La ronde littéraire ne s'arrête jamais.

21. 経済学部建物主要配置案内図



経済学研究科棟

- 地下 第1教室
- 1階 計算機演習室
- 2階 演習室 (202~204)
- 3階 第2教室、第3教室、第4教室
- 4階 トレーディング・ラボ、リサーチ・ラボ、
コモン・ラボ、コモン・ラボ2、計算機室
- 5階 事務室
- 6階 学部長室、事務長室、副研究科長室、
会議室
- 7階~10階 教員研究室
- 10階 共同研究室
- 11階 総務チーム分室、教務チーム分室(卒業生担当)、
名誉教授室
- 12階 共同研究室
- 12階~14階 教員研究室

赤門総合研究棟

- (本館)
- 2階 図書館事務室
- 3階 図書館閲覧室、大学院演習室、大学院研究室、
演習室 (第10・11)

国際学術総合研究棟

- 地下 第5教室
- 2階 第6教室、第7教室
- 3階 第8教室、演習室 (313~318)、学生ロッカー室
- 5階 演習室 (513~517)
- 6階 大学院研究室
- 7階 大学院研究室
- 8階 教員研究室、共同研究室
- 9階 教員研究室

※変更・追加が生じた場合は、掲示により周知する。

22. 経済学部教室配置図

1 階 平面図

